

2026年度採用 教員選考試験 合格体験記

※「児童教育コース」は、2026年度から「学校教育コース」に名称が変更されています。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

伊藤 恵理子

(群馬県立富岡高等学校出身)



私は小学校6年生のときに出会った先生に憧れ、中学生の頃から教員を目指してきました。地元である群馬県の教員になりたいという思いから、県内の大学である共愛学園前橋国際大学を選びました。

本学では、1年生のうちから近隣の公立小学校で週1回のボランティアに参加でき、学校の様子や授業を間近で見ることがあります。2・3年生では学校フィールド学習として一週間、近隣の小学校で学校現場を体験できます。そのため、3年生で行った教育実習には安心して臨むことができました。また、私は2年生の春休みに、日本だけでなく海外の教育も体験してみたいという思いから、本学の特色であるグローバルな学びができるオーストラリア海外教育研修に参加しました。実際に現地の公立小学校で授業を行った経験は、授業づくりや子どもとの関わり方を学ぶ貴重な機会となりました。

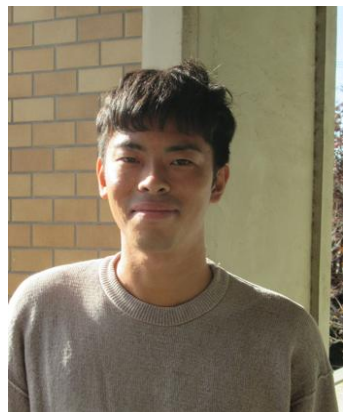
教員採用試験に向けても、教職支援室で過去の報告書を閲覧できたり、二次試験の面接練習では、先生方が熱心に指導してくださったりと環境が整っています。本学は先生方との距離が近く、常に手厚く支えてくださいます。教員を目指す皆さん、ぜひ本学で夢を叶えてください。応援しています。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

井出 大翔

(私立新島学園高等学校出身)



私が群馬県小学校教員採用試験に合格することができたのは、共愛学園前橋国際大学の充実した支援があったからだと思っています。少人数で行われるゼミや日々の講義では、教育に関する知識を身につけるだけでなく、ディスカッションを通して他者の考えに触れ、自分の視野を広げることができました。そうした学びを土台に、学校フィールド学習や教育実習といった実践の場で、子どもたちと主体的に関わる経験を積むことができました。

また、教育実習後には研究授業を参観したゼミ担当の先生からも丁寧なフィードバックをいただき、自身の課題や今後の目標を明確にすることができました。この積み重ねが、教員を目指す自分の成長につながったと感じています。さらに、教職支援室では教員採用試験に関する情報提供や面接練習など、手厚いサポートをしていただきました。こうした環境の中で学ぶことができたからこそ、4年間を通して「教員採用試験に合格する」という目標を一貫して持ち続けることができたのだと思います。

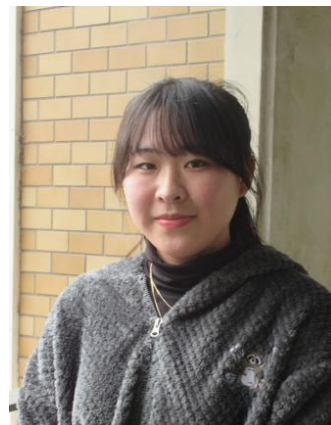
教員を目指す皆さんを応援しています。

群馬県中学校（社会科）教員合格

心理・人間文化コース

飯塚 暖菜

（私立前橋育英高等学校出身）



私が中学校社会科の教員になると明確に決めたのは大学3年生の頃です。高校生の頃に出会った恩師がきっかけで社会科の教員免許を取得しようと考え、大学1年生の頃から免許状取得単位を中心に履修を組んでいました。友人からの誘いで前橋学習支援事業ボランティアに参加し、中学生を対象に支援を行う中で、非常にやりがいを感じました。さらに、本学で社会科目を中心に多くの授業を履修する中で、「社会科って楽しい！」という思いが膨らみ、社会科の教員になろうと考えるようになりました。

本学で教員を目指す多くの学生は「児童教育コース」に所属していますが、私は「心理・人間文化コース」で社会科に関する専門的な知識をより深く学びながら教員を目指す道を選択しました。そんな私を支えてくれたのが教職支援室の先生方でした。教職支援室はコースに関係なく、教員を目指す学生に対して、勉強の仕方や面接対策、教育実習など、多くの相談に真摯に向き合ってくれます。この支えのおかげで教員採用試験にも合格でき、先生方には感謝してもしきれません。

教師を目指す道は決して楽ではありません。しかし、それを乗り越えた先に希望が見えるのです。本学はそのための環境が整っています。是非本学で教師を目指しませんか。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

井上 満月

（高崎市立高崎経済大学附属高等学校出身）



私は、小さいころから「群馬県で学校の先生になる」という目標を持ち、高校生まですべての学生生活を送ってきました。大学進学にあたって、群馬県で小学校と中学校の免許が取れ、1年生から実際に教育現場での経験ができる共愛学園前橋国際大学の児童教育コースに入学を決めました。

私が所属している児童教育コースは、少人数であるからこそ学生同士はもちろん、先生方との距離も近く4年間でたくさんの学びを深めることができました。特に教育法の授業では、指導案を書いたり実際に学生を児童に見立てて模擬授業をしたりしました。授業を行うことの難しさや教材研究の大変さを沢山感じましたが、仲間と助け合うことで着実に力をつけることができ、教育実習ではその学びを活かすことができました。その他にも沢山の教育に関するボランティア活動にも取り組むことができました。また、教員採用試験の際は教職支援室の先生やコースの先生などの手厚いサポートをはじめ、同じ目標を持つ仲間と共に切磋琢磨することで無事合格を手にすることができました。この経験はずっと忘れない宝物になりました。

ぜひ、皆さんも共愛学園前橋国際大学の児童教育コースで小学校教員や中学・高校教員を目指して頑張ってください。応援しています。

群馬県中学校（英語科）教員合格

英語コース

外山 楓乃

（群馬県立太田東高等学校出身）



私は、中学生の頃から学校の先生になることを夢見ていました。共愛学園前橋国際大学に入学したいと思ったきっかけは、オープンキャンパスで体験した授業がとても楽しかったことと、好きな英語を学べるコースで留学できるというのが主な理由でした。実際、本学に入学して教員を目指して本当によかったと思っています。

教員を目指すにあたって実際に子どもたちと触れ合うことができる機会を多く持つことができるというのは大切であると思います。本学では、コースの垣根を越えていろいろな授業を受けることができます。私は英語コースですが、1年生の頃から児童英語に関する授業を受講していました。そこで子どもたちと実際に関わって、より教員を目指したいと思うようになりました。

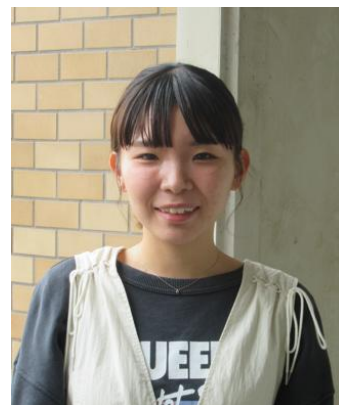
また、授業に関してだけでなく教職支援も充実していると思います。教員採用試験の中で、面接が一番不安な部分だったのですが、担当の先生と共に何回も面接の練習を行ったことで自信をもって本番に臨むことができました。教員を目指すにあたって、大丈夫かなと不安になることもあるかもしれませんが、本学はその不安にも寄り添い、夢が叶うように応援してくれます。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

二上 愛音

（群馬県立伊勢崎清明高等学校出身）



私は、共愛学園前橋国際大学の教職課程の充実度にとっても魅力を感じています。私は4年間で小学校・中学校（社会）・高校（地歴・公民）の教員免許状の取得と、本学と提携している大学の通信教育課程も履修し、特別支援学校の教員免許状の取得にも挑戦することができました。また、地域の小学校での短期間の実習や学習支援活動など、実践を通じた地域での学びの機会も多く経験することができ、「教育についてたくさん学びたい!」という気持ちを強く持っていた私にとって最高の環境で学ぶことができました。教員採用試験についてのサポートも手厚く、教職支援室の先生方には、試験の勉強法や対策、面接など様々な場面でとてもお世話になりました。

こうした4年間のたくさんの学びと経験、志が高い仲間との出会い、アットホームで温かい先生方の心強いサポートがある環境のおかげで、“教員になりたい”という夢を叶える第一歩を踏み出すことができました。高みを目指して挑戦し、夢に向かって無我夢中で走った4年間の大学生活はとても濃く、人生のかけがえのない大切な思い出となりました。

皆さんも共愛学園前橋国際大学で夢を叶えて下さい！心から応援しています。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

五十木 茉奈

(群馬県立伊勢崎高等学校出身)



私は小学校 6 年生の頃に初めて教員になりたいと思いました。そのころの恩師にあこがれたのがきっかけです。それ以来ずっと教員を目指してきましたが、共愛学園前橋国際大学で教職課程を履修し、教員は大変だけれどもやりがいのある仕事だと改めて実感しました。

本学では、小学校の教員免許を取得するための各教科の指導法の授業で、模擬授業を行う機会があり、教員としての力を身に付けることができました。また、講義のほかにも実際の教育現場を体験できる機会があり、とても貴重な学びとなりました。近隣の小学校と連携して毎年行われている本学独自の取組です。これらのおかげで教育実習前に現場の実態を把握することができ、実習に役立てることができました。その結果、実習を楽しく充実した形で終えることができました。

さらに、授業だけでなく、教員採用試験の支援も充実していると感じます。試験の対策講座があったり、面接用のノートも配布されたりと手厚いサポートをしていただきました。これらの支援のおかげで本番の試験には不安なく臨むことができ、面接も自信をもって行うことができました。

大変なことはたくさんあると思いますが、教員になりたい気持ちと友達を大切に頑張ってください。

埼玉県小学校教員合格

児童教育コース

岡田 花音

(前橋市立前橋高等学校出身)



教職に関する学修や実習を振り返って、共愛学園前橋国際大学の一番の良さは、少人数制だからこそ安心して学べる環境が整っていることだと思います。授業は少人数で行われるため発言しやすく、分からないことがあってもすぐに先生に相談をすることができます。少人数だからこそ学生同士はもちろん、先生との距離もとても近く、普段の授業内容だけでなく、教員採用試験の対策についても一人ひとりに合わせて丁寧に指導してもらえる点は大きな魅力であると思います。

また、実際の学校現場で学べる機会が多いことも特徴です。1 年次には空き時間を活用して近隣の小学校で学習支援ボランティアに参加できます。また 2 年次も近隣の小学校での「学校フィールド学習」が必修として行われます。教育実習以外にも実際の学校現場で子どもと関わる経験を積めることで、教員という仕事を早い段階から具体的にイメージできました。さらに、ただ講義を聞くだけでなく、模擬授業やグループワーク中心の授業が多く、人前で話す力や自分の考えを伝える力が自然と身につきます。

教員を目指す皆さん、ぜひ、共愛学園前橋国際大学で学んで力をつけてください。

群馬県中学校（英語科）教員合格

国際コース

田村 亜美

（群馬県立前橋東高等学校出身）



私は共愛学園前橋国際大学の国際コースで教職課程を履修し、「中学校の英語の教員になる」という自分の夢を叶えることができました。本学の魅力は、少人数だからこそ実現できる、丁寧で手厚い指導体制が整っているところです。授業では、教育の基礎から現場で求められる実践力まで段階的に身につくようにカリキュラムが組まれており、疑問があればすぐに相談できる環境が整っています。

また、本学には海外教育研修のプログラムがあり、私はオーストラリアの教育研修に参加しました。現地の児童達に日本の文化についての授業を行ったり、ホームステイをしながら教育文化の違いや多様な学び方に触れたりすることで、教師として必要な視野を広げることができました。この経験は、日本の教育現場で生徒と向き合う際にも大きな糧になっています。

本学は学生と教員との距離が近く、質問や相談をしやすい環境が整っています。教職を目指す上で必要な知識・技術だけでなく、教師としてどうありたいかを一緒に考えてくれる大学です。将来、教育の現場で活躍したい方にぜひ本学をお勧めします。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

和田 咲花子

（群馬県立前橋南高等学校出身）



私は小学生の頃から「教師になりたい」と思い、過ごしてきました。しかし、高校生頃に勉強に挫折し、「私には無理だ」と諦めていました。そんな時、進路指導の先生に「諦めるのはまだ早い。やってみなきゃ分からないよ。」と言われ、共愛学園前橋国際大学への進学を決めました。

本学は、自分で動けばたくさんを経験できる大学です。私は教育のことはもちろん、複数のサークル活動に参加したり、留学をしたり、教育以外の興味のある授業を受講したりと、積極的に活動してきました。一見、教員採用試験には関係のないことに思えるかもしれませんが、さまざまな経験を通して人間性の幅が広がり、考え方が変わったと感じています。ぜひ怖がらずに、たくさんすることに挑戦してください。挑戦して、もし「失敗」したとしても、その経験は次に成功するためのステップであり、物事に本当の意味での「失敗」はありません。

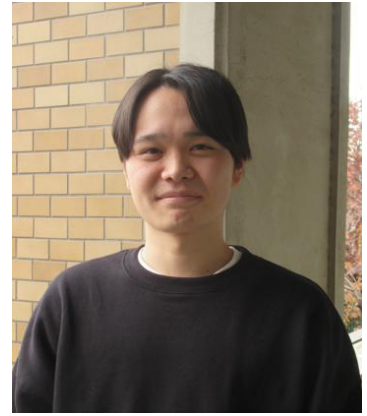
これから教師を目指す中で、辛いことが待ち受けているかもしれません。ですが、本学には仲間がいます。1人ではありません。努力は決して無駄にならないので、全力で夢に向かってがんばってください。

愛媛県小学校教員合格

児童教育コース

内田 朱人

(群馬県立高崎東高等学校出身)



私は共愛学園前橋国際大学に入学する際には自分が教員になりたいのかどうか正直分からず、一般職に就こうという気持ちのほうが強かったです。しかし、児童教育コースに入り大学で多くの児童に関わったことで教員になりたいという気持ちがとても強くなりました。

特に児童教育コースでは、1年時には学習支援ボランティアとして、近隣の小学校に週1日の1時間参加することができました。そこで教えることのおもしろさや休み時間に一緒に遊ぶことの楽しさに気付くことができました。2年時と3年時には学校フィールド学習があるため、それぞれ1週間ずつ小学校へ通わせていただきました。そのおかげで、1年から4年まで児童と関わる機会がとても多く、良い経験になりました。

また、教職支援室の先生方は前例のない愛媛県教員採用試験にも関わらず、試験情報を集め、試験へのサポートを手厚く行ってくださいました。群馬県を受験する際も支援室には多くの情報や資料があるので教員を目指す人にとって心強いと思います。

本学の児童教育コースでは、一人一人が真剣に講義を受講し、学びに来ていると感じます。私の経験から、大変なことも多いと思いますが、教員を目指すならば必ず将来のためになると思うので本学に入学することをお勧めします。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

吉田 侑衣

(私立新島学園高等学校出身)



私が教員採用試験に合格することができたのは、共愛学園前橋国際大学の最高の環境あってこそものだと思います。教職支援室の先生方のご支援、少数での学び、先輩方の体験談、ボランティア活動、学校フィールド学習 等々、本学は教師を志す者にとっての学びの宝庫です。その中でも、私は特にボランティア活動に力を入れていました。ボランティア活動についての情報は随時学生センターから連絡が来るため、積極的に参加しやすかったというのも魅力の一つだと感じています。大学1年次から子どもと関わるボランティア活動にたくさん参加しましたが、自分の糧にもなり、教員採用試験での自己PRにもなり、本当に良い経験となりました。また、教職支援室もたくさん利用しました。教職支援室では、教員採用試験に関する全ての対策をしてくださるので、本学で教師を目指す学生にとってなくてはならない場所です。

本学は、「学びたい!」「挑戦したい!」という学生の気持ちを大切に、背中を押してくれる先生方がたくさんいます。ぜひ本学の最高の環境で、最高の仲間とともに合格をつかみ取ってください。応援しています。

福島県小学校教員合格

児童教育コース

星 陽登

(私立会津若松ザベリオ学園高等学校出身)



私は小学校の担任の先生に憧れ、教員を目指すようになりました。授業だけでなく、日常の何気ない声かけや一人一人に寄り添う姿に心を打たれ、「自分も子どもたちの成長を支えられる存在になりたい」と思うようになりました。大学受験にあたり、進路に迷っていた中で出会ったのがこの共愛学園前橋国際大学です。高校時代に先生からかけていただいた「置かれた場所で咲きなさい」という言葉を胸に、本学で福島県の教員になるため努力しようと決意しました。

本学の少人数でのアクティブラーニング型授業や、互いに切磋琢磨できる学習環境は私に合っており、学生一人一人が主体的に学べる点に大きな魅力を感じました。教員を目指す県は違っても同じ志を持つ仲間と学べたことは、大きな財産です。また、大学が用意してくれる子どもと関わる機会には積極的に参加し、教育実習に加えて地域ボランティアや学童でのアルバイトを通して、子ども理解の大切さや現場で求められる対応力を学び、実践力を高めることができました。これらの経験が、教員採用試験に臨むうえでの自信につながったと感じています。

本学で、目標に向かって「今できることは何か」を考え、行動し続けることが大切であることを学びました。やらない後悔ほど、もったいないものはありません。失敗は挑戦の証であり、必ず将来の自分を支える糧となります。多くの選択肢の中で前に進もうとする皆さんを、心から応援しています。自分の可能性を信じ、勇気をもって一歩を踏み出してください。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

寺脇 杏華

(群馬県立太田東高等学校出身)



私は最初共愛学園前橋国際大学には、小学校の教員免許が取れるという理由だけで入学しました。しかし、今思えば本学に入学して良かったと心から感じています。本学は、教員や地域との距離感が近く、とても温かい支援を受けることができたり、教育現場で経験を積める機会が多かったりと、魅力が非常に詰まった大学です。

特に、南オーストラリア教育庁と連携した「海外教育研修オーストラリア」というプログラムは本学独自の研修であり、ここでしかできない体験をすることができます。この研修は、オーストラリアに3週間滞在し、現地の子どもたちに英語で授業をするという内容です。オーストラリアの教育観や授業の工夫、子どもたちとの関わり方など様々なことを学ぶことができました。また、オーストラリアを観光することもでき、この研修でしか得られない面白い体験や貴重な体験などができるため、非常にお勧めです。

私が教員採用試験に合格できたのも、手厚い先生方の支援や充実した本学のプログラム、同じ目標を持って支え合った仲間のおかげだと思っています。ぜひ皆さんも本学で仲間たちと一緒に教員を目指してみませんか。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

川田 菜々

(群馬県立伊勢崎清明高等学校出身)

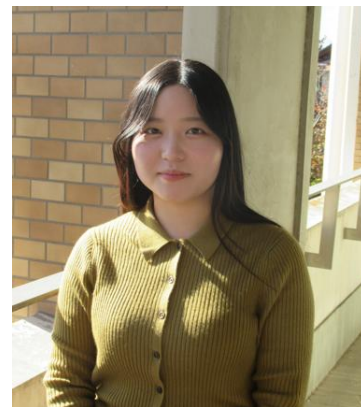
私が教員を目指すようになったのは、中学生の頃に出会った先生の存在がきっかけでした。教育に対して情熱的で、子ども一人ひとりに真摯に向き合う姿に憧れを抱き、「自分もこんな教員になりたい。私が繋いでいきたい。」と思うようになりました。

本学では、学校フィールド学習や、ゼミ活動での学童や小学校との交流会など、実際の教育現場に触れる機会が多く用意されています。授業で学んだ理論と現場での実践を結びつけながら学ぶことで、教員として求められる姿勢や子どもとの関わり方を具体的に考え、身に付けることができました。

採用試験対策を振り返ると、同じ目標を持つ児童教育コースの仲間の存在が非常に心強かったです。筆記試験や面接試験に向け、お互いに意見を出し合ったり、練習したり、励ましたりしながら取り組んでいました。採用試験の直前は授業がない日に集まって、本番をイメージしながら練習をしていました。また、教職支援室の先生方からは勉強方法や面接に関する具体的な助言をいただき、自信を持って本番に臨むことができました。

共愛学園前橋国際大学で得た学びと支えを糧に、自分らしさを忘れずに、子ども一人一人に寄り添う教員として成長していきたいと考えています。

本学での学びが教員を目指す皆さんの夢の実現に繋がるよう、応援しています。



私立共愛学園小学校教員合格

児童教育コース

前田 颯

(私立高崎商科大学附属高等学校出身)

本学での学びの中で特に優れているものは、学校フィールド学習でした。近隣の小学校と連携し、大学2年生の年から実際の教育現場に入って実習を行うことができるこの制度は、大学3年生以降で行くことになる教育実習のリハーサルのような位置づけです。本来であれば、教育実習で初めて本格的に児童生徒の前に立って相手をするようになります。しかし、経験の乏しいまま大勢の子どもたちに接すると慣れるまでに時間がかかり、深い学びを得にくくなります。ですが、本学ではそのような心配をすることがほとんどありません。教育実習に行く前に、学校フィールド学習で予め子どもたちと一緒に学校生活を過ごす経験を積んでおくことができるからです。

学校フィールド学習では、授業をしたり学級活動を任されたりすることはありませんが、担任の先生と共に子どもたちをサポートする立場として、1週間朝から夕方まで学校に通います。この1週間では、現職の先生方の授業準備や放課後の業務、子どもと接するスキルなどを間近で学ぶことができます。

皆さんも、授業の作り方や子どもとの接し方を学んだうえで、不安がなく気持ちのいい教育実習のスタートを切ってみませんか。



群馬県小学校教員合格

児童教育コース

北爪 夏鈴

(前橋市立前橋高等学校出身)



私が教師を志すようになったきっかけは、小学校時代の担任の先生の存在です。子ども一人一人に真摯に向き合い、温かく導いてくださる姿に憧れ、私も誰かの成長を支えられる教師になりたいと思うようになりました。その夢を実現するために共愛学園前橋国際大学に入学しました。

本学には、学校フィールド学習や学習支援ボランティアなど、教師を目指す上で実践的な経験を積める機会が数多くあります。私自身、積極的に参加することで、子どもと関わる難しさや喜びを実感し、学びを深めることができました。また、コースの人数が少ないため先生方との距離が近く、教職支援室での手厚いサポートも受けられる環境が整っています。そのおかげで、不安を抱えることなく、自分のやりたいことに挑戦することができました。

試験は一人で受けるものですが、これまで共に頑張ってきた友人や、支えてくださった先生方の存在を思うことで、安心して全力を出すことができました。周囲の温かな支えがあったからこそ、こうして合格をつかみ取ることができたのだと思います。みなさんもぜひ本学で素敵な仲間や先生方と出会い夢を叶えてください。心から応援しています。